

初再診時の歯管の90点統一は 実質マイナス

◆歯科医が歯科技工を行い義歯製作をしています。今次改定の鑄造鉤コバルトクロム使用や補強線の扱いは、コバルトクロムの鑄造設備がない歯科医院にとって看過できません。CAD・CAM冠、三次元プリント義歯、チタンブリッジなど主として大手の技工所でなければできない改定が多く、伝統的歯科技工はやるな、廃れると言っているようにしか思えません。そもそも弾力のないコバルトクロム鑄造鉤や天然歯と硬度の異なるチタンを使用させるのは理工学的医学的に疑問です。

（歯科）

◆再診月以降の歯管の10点減算や19歯未満のSPTの減算など長期管理による治療に対する減算が大きいと感じる。

（歯科）

・ニトリルグローブや紙エプロンなど治療に用いる材料等が高騰しているの、今回の初再診料と物価対応料では全く足りない。早急に追加の加算

◆訪問歯科、在推進100点を算定していました。6月からは算定できません。この分どこで増収されるのでしょうか？

（歯科）

介護保険の最初から近所の外に出られない人の口のケアを行ってききました。地域医療に貢献してきたつもりだけど、小規模診療所では100点加算はでき

◆届出が大変（ベースアップ等）。

（鶴田医院・鶴田 尚樹）

◆とても解かりづらいです。

◆直接何が変わるのかが、冊子を見ないと詳しく分かりません。点数も、詳しく計算しないと分かりません。届出をしなければいけない事が多い。冊子に書いてあることを口頭で読み上げるのではなく、医療事務的に算定する上で分かりにくい所を説明する形で話していただけると良かった。

（歯科）

◆賃金アップのために、保険料でうめあわせるのはおかしい話。

◆開業医のつぶやき（本当の医療は「食を薬とせよ」）

（歯科）

保険制度は根底から見直すべき。症状優先の現治療は間違いだらけ。質の悪い医療ほど点数が高くなる状況は、しっかりと誤りと認めるべき。必須の治療は、わずかな費用で良いのです!!

（つじが丘診療所・伊藤 喜一）

◆リハビリテーション総合計画評価料の減算の理由がわかりません。単なる値下げで、PTの給与の維持ができません。当院ではこれだけで月100万円程度の減収になり、ベースアップ評価料ではとても職員の昇給は無理な状態です。

（緑園ゆきひろ整形外科・齋藤 幸弘）

◆国民の高齢化に伴う医療費の増大を鑑みれば満足できる改定だと思います。

（松本歯科医院・松本 猛）

◆加算など複雑。また、点数が低い。

・チタンは扱っていない技工所があります。

・技工所ベースアップ。最初からset物の点数を上げれば良いと思う。

（金子歯科医院・金子 実弘）

初再診時の歯管の90点統一は初診の患者が少ないから実質マイナスですネ。SPTに誘導してハシゴはずしと思われま

（あさみ歯科医院・東野 あさみ）

届出が大変

◆届出が大変（ベースアップ等）。

（鶴田医院・鶴田 尚樹）

◆とても解かりづらいです。

◆直接何が変わるのかが、冊子を見ないと詳しく分かりません。

◆点数も、詳しく計算しないと分かりません。届出をしなければいけない事が多い。冊子に書いてあることを口頭で読み上げるのではなく、医療事務的に算定する上で分かりにくい所を説明する形で話していただけると良かった。

（歯科）

◆賃金アップのために、保険料でうめあわせるのはおかしい話。

◆開業医のつぶやき（本当の医療は「食を薬とせよ」）

（歯科）

保険制度は根底から見直すべき。症状優先の現治療は間違いだらけ。質の悪い医療ほど点数が高くなる状況は、しっかりと誤りと認めるべき。必須の治療は、わずかな費用で良いのです!!

（つじが丘診療所・伊藤 喜一）

◆リハビリテーション総合計画評価料の減算の理由がわかりません。単なる値下げで、PTの給与の維持ができません。当院ではこれだけで月100万円程度の減収になり、ベースアップ評価料ではとても職員の昇給は無理な状態です。

（緑園ゆきひろ整形外科・齋藤 幸弘）

児童虐待防止へ 医療機関の第一歩

子育て支援リーフレット 注文無料で受付中

子育て中の保護者が抱える育児不安・ストレスの悩みを相談できるきっかけをつくるリーフレットです。

孤立し育児に悩む保護者が行政や支援へと繋がるよう、地域の相談窓口を多数掲載しています。

相談を促すコラムや、温かみのある雰囲気イラストを用い、手に取りやすいサイズ感（B5三つ折り）となっています。

かねてより、子どもを巡る痛ましい事件が後を絶たず、当協会では2004年から開業医師・開業歯科医師としてできる児童虐待予防対策に取り組んできました。▽診察室で気になる親子に渡す、▽待合室やお手洗いに設置のほか、▽出産を控えた妊婦に渡す資料に加えている先生も。県内全域に広がる会員が、本リーフレットを活用し、あの手この手で児童虐待を防ぐきっかけを作っています。

注文無料・地域医療対策部までお問合せください（TEL 045 - 313 - 2111）。



《掲載している相談窓口》

- ・神奈川県内の市区町村の保健福祉センター等の子育て相談窓口
- ・児童相談所相談専用ダイヤル
- ・こどもの相談窓口 チャイルドライン

お母さん

ひとりで悩まないで

～子育てに不安を感じたら～



神奈川県保険医協会
2024年5月発行

タイトルの「お母さんひとりで悩まないで」は関心を引くフレーズとして採用していますが、配布は母親に限定していません。

ひとりで抱えこまないで

子育てをしながら、こどもに否定的な感情を抱くことはありませんか？

- 泣きやんでくれないとき
- なかなか言うことを聞いてくれないとき など...

どんな親でも、悩みやストレスを抱えるものです。あなたのそばに信頼できる先輩や仲間がいれば、たいいていことは乗り越えることができます。

でも、少子化・核家族化が進む社会では、子育てに不安や戸惑いを感じる方は増えています。

例えばこんなことも影響します。

- パートナーが非協力的、仲がうまくいっていない
- 身近に頼れる親族や仲間がいない
- 経済的な不安がある
- 「あれもこれもやらなくちゃ」と頭がいっぱい
- こどもへの愛情の注ぎ方が分からない

これらは一例ですが、こうしたことが重なると、こどもにつらくあたってしまう、育児を投げ出してしまうことが起きます。また、育てる側だけに原因があるとは限らないこともあります。

「こどもにつらくあたってしまう」「育児が「つらい...」こんなモヤモヤを、ひとりで抱えこんでいませんか？少しでも、吐き出してみませんか？



手に取りやすいB5三つ折サイズです。相談を促すコラムも掲載しています。